



宇都宮市 細谷地域 ビジョン 概要版

「暮らしやすいまち」・「安全で安心なまち」の細谷地域を
10年後、20年・30年後も「住んでいて良かったまち」
「これからもずっと住み続けたいまち」であり続けるために……。
ビジョン検討会議を2年間で18回開催し（延べ参加人数862人）、
地域の重要な課題や重点項目の検討を重ねてまいりました結果、
「細谷地域の将来のあるべき姿」「まちづくりの大きな目標」として
「みんなのしあわせがあふれるまち」を策定いたしました。

発行日
平成30年3月31日

細谷地区自治会連合会
細谷地域まちづくり協議会
細谷地域ビジョン検討委員会
細谷地域ビジョン策定委員会

< 細谷地域の将来のあるべき姿 > みんなのしあわせがあふれる「まち」

< 理念 >

地域にお住いの
お年寄り
障がいとともに生きる方 多様な人たちも
大人も 子どもも
地域で働く人たちも
いろいろな人との違いを認め合いながら
その人らしく 毎日の生活を「しあわせ」に
そして「潤いある生き方」で暮らしていけるよう
みんなのしあわせがあふれる「まち」の実現を目指します。

人の「しあわせ」って 地域の「しあわせ」って何だろう
地域と地域で暮らす人が「しあわせ」になるには 何が必要だろうか(・・?)

「笑顔」が人を「しあわせ」にします。「笑顔」が地域の「幸福度」を高めます。



はじめに

「利便性に優れた暮らしやすいまち」、「安全で安心なまち」の細谷地域の特性を生かしたまちづくりを主体的に推進しているこの地域を10年後、20・30年後も「住んでいて良かったまち」、「これからもずっと住み続けたいまち」であるために、地域の目指すべき方向性や方策などを示すものとして、平成28年7月より、細谷地域内の各種団体役員で構成する「地域ビジョン策定委員会」と地域力を生かした協働の「ビジョン検討委員会」を組織し、「未来につなげよう～プロジェクト(未来のあるべき姿の検討)」を展開しました。

ビジョン検討会議は宇都宮大学基盤教育センター・特任助教の桑島 英理佳 先生のご協力をいただき、ワークショップ(体験型講座)形式を取り入れ2年間で



18回開催しました。

初年度は「住んでいて良かったまちを見つけよう」から始まり、最終年度の平成29年度は「これからもずっと住み続けたいまちを創ろう」と地域にある魅力的な資源の発見・確認作業と地域の現状を評価し課題を整理した後、細谷地域の将来のあるべき姿や今後の取り組むべき活動等を関係者全員が共有しながら精力的に意見を交わして進めることができました。

<地域ビジョン検討委員>
平成28年度 59名
平成29年度 75名

<地域ビジョン検討会議>
2年間 18回 開催
延べ参加人数 862人



また、ワークショップで取りまとめた事項を踏まえて、地域内で就労する事業所従業者や自治会に加入する全世帯、地区内の小中学校にも協力を要請してビジョンに取り入れ込むべき事項の優先度を諮るため、「みんなが幸せに暮らしていける」まちづくりアンケート調査(配布部数・6,675部)を平成30年の1月18日から2月14日にかけて実施いたしました。



こうした過程や地域を網羅する意見の集約を経まして、平成30年3月に細谷地域ビジョンを無事に取りまとめることができましたので、地域で就労されている方、活動されている方、お住いになられている方にとどまらず、細谷地域を魅力的だと感じられているすべての方々へ作成した地域ビジョンをお示するとともに、多くの関係者の皆様へ感謝を申し上げます。

アンケートデータ

37.4%

細谷地域はこれからもずっと
住み(働き)続けたいまちだと
<すごく思う人>

30.9%

自分は幸せな生活を
送っていると
<すごく思う人>



地域の現状

<地勢>

細谷地域は宇都宮市の中央に位置しています。JR宇都宮駅から北西方向に4km。その先には日光連山、西南には富士山を望見することが出来。ほぼ中心部を日光街道と宇都宮環状道路が交差しています。日光街道の東側に釜川が南流しています。釜川の東岸は宇都宮丘陵に続く緑豊かな起伏地。西岸は平坦に広がる宝木台地となっています。

<人口・世帯>

細谷・上戸祭両小学校の通学区域の4.2km²に、7,000世帯17,000人が居住しています。

<道路>

日光街道、宇都宮環状道路と宇都宮北道路が通る自動車交通の要衝地で宇都宮ICの東北自動車道や日光宇都宮道路か



ら、首都圏や日光・鬼怒川・尾瀬、那須・会津方面等へアクセスやすく、活気に満ちた地域です。

<公共・交通>

関東自動車の細谷車庫、宝木団地、日光街道と市内中止部を結ぶ南北方向の路線バスが充実している。一方、細谷車庫以北の路線バスの本数は少ない。また、新しく造成された住宅団地へ繋がるバス路線がないほか、狭い道路事情により路線バスの運行が厳しい場所もある。

<立地施設>

幼・保、小・中学校から高校・大学・特別支援学校が立地する市内有数の文教地域となっている。暮らしに欠かせない病院や診療所、商店・スーパーマーケット・ホームセンター・ドラッグスト

ア・コンビニ、飲食店、銀行、郵便局、ATMなどが充実しており便利である。

また、栃木医療センター、とちぎ福祉プラザ、市宝木出張所・北生涯学習センター・西消防署宝木分署・細谷地域コミュニティセンターなど、様々な公共施設もあり利便性に富んだ暮らしやすい地域です。



<歴史資源>

江戸時代の五街道の一つの日光街道と桜並木・農用地利用を高めた新川(宝木用水)、県内最大級の円墳、旧帝国陸軍14師団の面影を残す建築物や縄文～古墳時代の歴史的遺跡などが数多く点在している。

地域の変遷

■縄文～古墳時代にかけて人が住み始める(集落跡確認)。

■至徳4年(1387年)

妙吉塚(妙言貞禅塚)建立

■元和5年(1619年)

日光街道完成 上戸祭一里塚

■寛文2年(1662年)

戸祭村北部の上戸祭村と南部の下戸祭村に分村。のち、上戸祭村は戸祭村上組となる。

■寛文10年(1670年)

西原十か新田開拓開始。現在の群馬県板倉町細谷から入植された人々の故郷の地名から細谷新田村と名付けられる。水利に乏しい地形にあたるため、村人の生活は想像を絶する厳しいものであった。

■明治8年 西原十か新田が合併して「宝木村」と改称。

■明治22年 市町村制施行により、「新里・岩原・宝木・戸祭村上組・野沢」の各村が合併し、「国本村」となる。

■明治41年

旧帝国陸軍第14師団設置

■昭和20年

宝木練兵場跡(現在の若草3・4・5丁目)に40戸入植。宝木開拓婦農組合設立

■昭和27年 「国本村」(現在の細谷・宝木、戸祭の一部地区)宇都宮市に合併

■昭和31年 「細谷小学校」現在地に新校舎建設移転。

■昭和49年 宝木小学校新設に伴い、宝木地区を分離し細谷地区自治会連合会に名称を変更する。



■昭和57年 北公民館、現在の北生涯学習センター開設。

■平成2年 上戸祭小学校開校。細谷小学校より入校式を行う。

■平成6年 宝木出張所、若草1丁目より若草3丁目に移転。

■平成8年 宇都宮環状道路全線開通。

■平成19年 細谷地域コミュニティセンター開設。

■平成19年 細谷地域まちづくり協議会発足。

■平成22年 北生涯学習センターに北市民活動センター併設

地域の評価

◆日常生活に必要な様々な施設が充実した利便性に優れた活気にあふれる地域です。



◆きれいに植栽された季節の花々や木々。開発を免れ守られてきた田畑や畦道などの景色と日光の山並み、事業所や公共施設・商業施設と住宅が良好に調和し、安らぎや潤いを得られる地域です。

◆保育や教育施設、医療施設が充実した清潔感のある閑静な地域で、公園などの遊ぶ場所もたくさんあり、子育てするのに快適な地域です。

◆サイクリングに快適な釜川沿いの通りや長岡公園、福祉プラザといったウォーキングに適した場所があるなど、健康づくりに取り組みやすい環境に富んだ地域です。



◆日光街道や新川(宝木用水)戸祭大塚古墳、国指定文化財の赤レンガ倉庫など魅力的な歴史的資源が点在し、先人たちの営みを感じられる地域です。

◆登下校する小学生への見守り活動や引きこもりがちな高齢者へのふれあい食事会等、教育や社会福祉活動に精力的であるなど地域の結束が固い地域です。

◆この地で生まれ育った人も、よそから移り住んでいる人も、新しく移ってきた人も分け隔てなく、打ち解け合って交流できる寛容で人情味あふれる地域です。

地域の課題

現状において、良好な生活環境にあり、利便性に優れた地域であるものの、少子・超高齢化の進行により、地域の活力を持続させていく上で、細谷地域では、今後、以下のような差し迫った課題が懸念されます。

●管理放棄された空き家や空き地の増加により、生活環境が低下する。

●世代間の繋がりの希薄化により、歴史や伝承が途絶える可能性が高まるほか、地域への愛着が低下する。

●自治会活動やまちづくりに関わる様々な活動の担い手やリーダーだけでなく、参加者そのものの確保が困難化する。

●基本的な住民相互の繋がりが希薄化する。

●地域コミュニティそのものの持続が難しくなる。



まちづくりの方向性

細谷地域の差し迫った課題に対応していくために、これからもずっと住み続けたいまちだと持続的に思われるよう、地域力を生かした主体的な取組が必要となっている。

<将来のあるべき姿>

「みんなのしあわせがあふれるまち」を掲げ、その実現を目指す。

2025年の数値目標

50%

細谷地域はこれからもずっと住み(働き)続けたいまちだと<すごく思う人>

あるべき姿の実現に向けた取組

分野別	(1) 自然・文化・歴史
<p>★地域への愛着を今まで以上に深め、住民相互の連帯感を高めることができるよう地域に残された自然や歴史に親しみを持ちながら、保全・活用していく活動を推進します。</p> <p>① 地域の歴史を再発見するまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力を訪ねて歩けるマップづくり <p>② 自然や歴史を活かした潤いあるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大塚古墳などの歴史遺産の愛護保全・保存活動 ・釜川の保全・活用の検討 	
分野別	(2) 生活環境
<p>★地域住民が快適に清々しく暮らせることができるよう適切なごみの排出や清掃活動、緑化活動といった地域の環境美化活動を推進します。</p> <p>① 清潔なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ排出ルールの徹底活動 ・清掃活動の推進 ・ペット飼い主のマナー向上活動 ・空き家・空き地の監視活動 <p>② 緑や花々があふれるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域をひとつの花壇にしよう ※新規実施中 	
分野別	(3) 健康・福祉
<p>★高齢者が健康で生きがいを持ちながら、充実した暮らしを送れるように地域内での見守りや交流を推進していくなどの日常生活の支援を行っていきます。</p> <p>★生涯に渡り、誰もが心身とも健やかに過ごせるよう望ましい食生活の普及と体育活動の促進に取り組んでいきます。</p> <p>① 高齢者もいきいきと暮らせるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の居場所づくり（ふれあい・いきいきサロン） ・高齢者見守りリーダーの養成 ・民生委員・福祉協力員等の連携強化 <p>② 誰もが元気に暮らせるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣味やスポーツを楽しめるサークルやクラブの創設 ・食育の推進 ・歩育活動の推進（ウォーキングマップの活用） 	
分野別	(4) 安全・安心
<p>★子どもや高齢者などの社会的な弱者が自己所有の車に頼らなくとも移動できる交通手段の構築に努めていくほか、事件や事故等に巻き込まれないよう防止する活動に取り組んでいきます。</p>	

★地震の発災や台風などによる風水害の影響を最小限になるよう、平常時における対策を強化します。

① 便利で暮らしやすいまちづくり

- ・暮らしの困りごと相談窓口の開設
- ・交通安全の促進・道路標識やカーブミラーの対策要請
- ・生活交通の確保に向けた地域内交通などの検討

② 防犯に強いまちづくり

- ・防犯カメラの増設や一戸一灯運動の推進
- ・特殊詐欺被害等の被害防止活動の推進
- ・高齢者等への交通安全教室の開催

③ 災害に強いまちづくり

- ・平常時及び災害時における役割分担の把握と一時避難場所までの避難誘導経路の継続的な安全確認
- ・災害訓練の強化と防災マップの更新
- ・危機管理マニュアル等の継続的見直し

分野別 (5) 次世代育成

★学校や家庭と連携して子育てのより良い環境を高めて、子どもたちが故郷を大切に思い、将来、より良い社会の構築を担うことができる人材になるよう支援や育成を図っていきます。

① 子育てしやすいまちづくり

- ・登下校の子ども見守り活動のさらなる推進

② 次世代をみんなで育てるまちづくり

- ・放課後における子どもたちの居場所づくりや学習支援の強化

分野別 (6) 地域コミュニティ

★地域に暮らす人同士の良好なコミュニティを維持していけるよう、様々な活動を通して支援していくほか、地域の魅力の発信を強化していきます。

★地域に暮らす様々な人たちが、お互いに尊重し合いながら、快適に過ごしていけるよう、差別や偏見といった障壁のない地域づくりを推進します。

① 挨拶や笑顔の絶えないまちづくり

- ・地域のお祭りや伝統行事を通じた自治会活動の推進

② 人と人をつなぐ活力のあるまちづくり

- ・SNSを利用した地域の魅力の発信

③ 障がいとともに生きる人々や多様な人たちを応援するまちづくり

- ・心のバリアフリー教室の開催

分野別 アクションプラン

★緑や花々があふれるまちづくり

みんなが幸せに暮らしていける 細谷地域 まちづくりアンケート データ

<まちづくりアンケート>にご協力をいただいた人の割合

配布数 6,675通	提出数 4,383通	回収率 65.6%
----------------------	----------------------	---------------------

<すごく思う> + <思う> と答えた人の割合

今、暮らしている地域は
安全で安心して暮らせる
83.0%

現在の暮らしや、自分の
将来の不安は少ないほうだ
54.6%

自分の好きなことに
熱中していることがある
60.0%

自分は幸せな生活を
送っていると思う
76.6%

細谷地域に住んで(働いて)
いて、良かったと思う
82.8%

細谷地域はこれからもずっと
住み(働き)続けたいまちである
80.1%

あなたとあなたの家族のために、「細谷地域」はどんな、「まちづくり」をすれば良いのでしょうかの問いに、「ご回答者が望まれたまちづくり活動の優先順位」です。

まちづくりの主な活動

- 1位 犯罪を防ぐ活動の強化と防犯カメラの増設 一戸一灯運動
- 2位 暮らしの困りごと相談窓口の開設や高齢者向けの生活支援
- 3位 買い物などに地域内を自動車に頼ることなく暮らせる交通手段
- 4位 高齢者向けのふれあいサロンなどの居場所づくり
- 5位 誰もが趣味やスポーツを楽しめるサークルやクラブの創設
- 6位 登下校の子どもの見守り活動 地域・家庭教育力の向上
- 7位 放課後の子どもたちの居場所づくりや学習支援
- 8位 差別や偏見を無くし、障がいとともに生きる人々に寄り添いサポートする仕組み
- 9位 地域のお祭りや伝統行事を通じた自治会活動の充実
- 10位 みんなが快適に清々しく暮らせる環境美化活動
- 11位 人と人とのつながりを大切にする防災意識の向上
- 12位 SNSを利用した地域の魅力の発信やコミュニティの強化
- 13位 大塚古墳や名所・旧跡などの歴史遺産の保全活動
- 14位 花いっぱい運動の推進 地域全体をひとつの花壇にしよう
- 15位 地域の魅力を訪ねて歩けるマップをつくり交流人口を増やす



未来につなげよう～わたくしたちのまち

ご連絡
お問い合わせは

「細谷地区自治会連合会／細谷地域まちづくり協議会」
細谷地域コミュニティセンター内 TEL/FAX 621-7882